

個人投資家様向け会社説明会

2024年12月15日

株式会社アイキューブドシステムズ

東証グロース：4495

目次

1. 会社概要	P 2
2. 事業概要	P 7
3. 業績の推移	P 17
4. 市場環境	P 23
5. 事業計画及び成長戦略	P 29

1. 会社概要

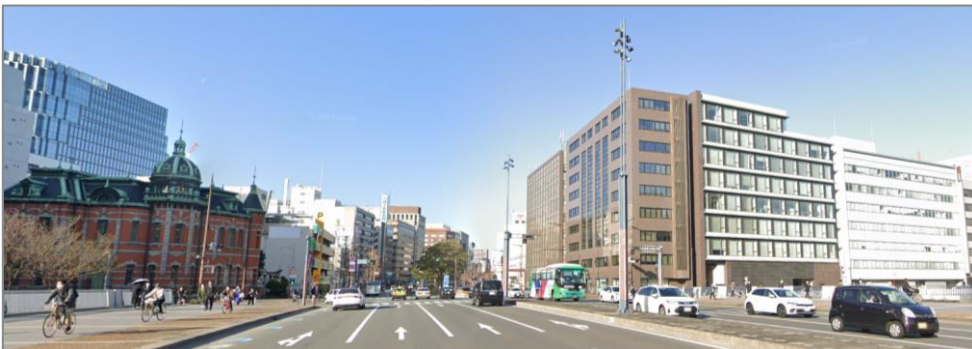
会社概要

会社名	株式会社アイキューブドシステムズ
所在地	福岡本社：福岡県福岡市中央区天神4-1-37 第1明星ビル 東京本社：東京都港区浜松町1-27-16 浜松町DSビル 営業拠点：札幌市／仙台市／名古屋市／大阪市／広島市
資本金	413,018,600円
設立	2001年9月
代表者	代表取締役執行役員社長 CEO 佐々木 勉
主な事業内容	CLOMO事業／投資事業
パートナー	Apple Consultants Network Member Android Enterprise Gold Partner Microsoft AI Cloud Partner
グループ会社	株式会社アイキューブドベンチャーズ 10KN COMPANY LIMITED

※2024年9月末時点の情報を掲載しております。

福岡・東京・大阪を中心に全国をカバー

大規模企業の需要が見込める東京や大阪など全国に営業拠点を構え、サービス販売を拡大
現在は7拠点で全国を広くカバー



人員構成等

中途社員採用メインで組織規模を拡大

2020年からは毎年10名前後の学生を国内外で新卒採用し、現在の従業員数は130名

従業員数 **130名**
(グループ全体では157名)

外国籍の社員 **7%**
(グループ全体では23.0%)

男女比率 **6 : 4**
およそ

平均時間外 **4.5時間**

平均年齢 **36歳**
およそ

育休取得率 **100%**

コーポレートブランド

ブランドスローガン

挑戦を、楽しもう。

私たち自身が挑戦を楽しみ、人々や組織の挑戦を助け、
そしてもっといい笑顔を増やすために、様々なアイデアを実現していきます。

ブランドコンセプト

パーパス：笑顔につながる、まだ見ぬアイデア実現の母体となる

提供価値：デザインとエンジニアリングの力で、挑戦を支える

2. 事業概要

当社グループの事業構成

当社グループはCLOMO事業を主軸に事業を展開

投資事業はCLOMO事業のさらなる拡大及びグループ全体の成長加速に向け2022年6月期より開始

CLOMO事業



当社グループの収益基盤となる主軸事業であり、企業で利用するモバイル端末の管理/活用を支援する「CLOMO MDM」と「CLOMO SECURED APPs」を提供

投資事業



CLOMO事業の事業機会の獲得も目的としたCVCなどの投資活動と、CLOMO事業のさらなる拡大と、新事業の創出に向けたM&Aを実行

MDMが注目されている背景

DXやペーパーレス化の促進に伴い、多様な業種にてモバイル端末のビジネス利用が拡大一方で、モバイル端末の紛失や盗難等に起因するリスクへの対応ニーズが増加

モバイル端末の利用シーン（一部）

● スマートフォン

従業員への貸与端末（業務上の携帯電話）
医療機関における内線ツール

● タブレット

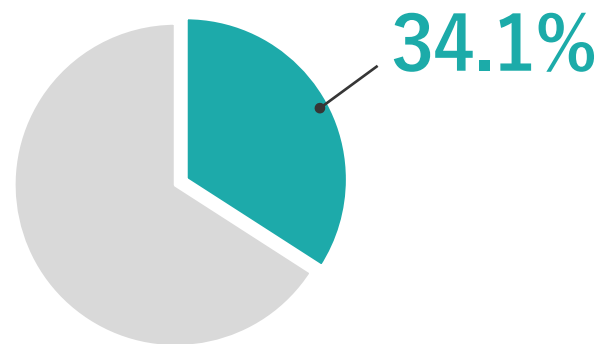
教育現場における児童への貸与端末
接客業の店舗における予約・在庫管理や決済用端末

● 業務専用端末

運送業における配達員の配送管理用端末
製造業における図面確認、連絡用端末

モバイル端末管理（MDM）の必要性

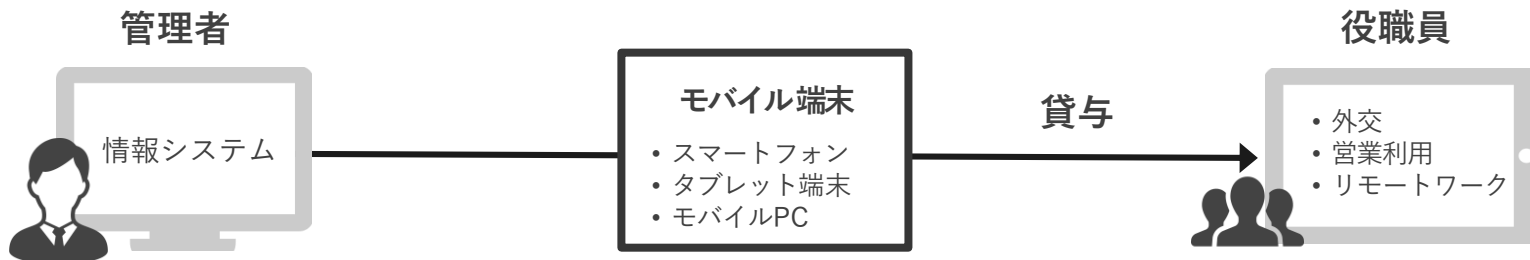
「従業員によるデータ、情報機器の紛失・盗難」
を3社に1社が経験



企業が過去1年間に経験したセキュリティインシデントで最も多かったのは「従業員によるデータ、情報機器の紛失・盗難」で、34.1%

CLOMO事業の概要（サービス内容）

モバイル端末のビジネス利用におけるセキュリティリスクを軽減するためのMDMサービス及びモバイル端末のさらなる活用を実現するアプリケーションサービスを提供



	利用状態の可視化 「状態の監視」	機能制限と設定 「利用ルールの適用」	セキュリティ対策 「情報漏えい対策」
管理 スムーズな管理のための基本機能	 利用状況を遠隔でリアルタイムに把握	機能を適切に設定・制限	盗難・紛失時に端末ロック・データ消去の実施
活用 MDMと合わせ安全性と利便性を両立	 利用状況の効率的な把握 【ブラウザ／メーラー／カレンダー／アドレス帳／ファイル共有】	業務ソフトウェアの効率的な活用	セキュリティ要件を満たしたアプリの提供

1 CLOMO デモ動画（アプリケーションを配布する）

現在の表示条件を保存

iPhoneに対してVPPアプリケーションライセンスの付与（デバイス向け）の実行が完了しました

デバイス種類	デバイス名	モデル名	デバイス管理状態	電話番号	所有者	
<input checked="" type="checkbox"/>	iPhone	iPhone	管理中	(なし)	池田花子	完了(0分前): 紛失モ...
<input type="checkbox"/>	Android	sunfish	管理中	(なし)	田中太郎	color:blue
<input type="checkbox"/>	iPhone	iPhone 002	-	8012345678	高田まり	
<input type="checkbox"/>	Android	F04K	管理中	(なし)	山田一郎	
<input type="checkbox"/>	Windows	DESKTOP-I6LBS69	管理中	(なし)		
<input type="checkbox"/>	Android	sunfish	管理中	(なし)		DEP: プロファイルイ...
<input type="checkbox"/>	iPhone	iPhone	管理中	(なし)		DEP: プロファイル割...
<input type="checkbox"/>	iPad	iPad	管理中	(なし)		

iPhone

所有者情報
池田花子 (セミナー用組織)
(×モ) 営業部 (福岡支社) 所有端...

iPhone
iOS 17.1
監視対象

電話番号
(なし)

UDID
00008110-000428A20A32801E

使用: 28 GB 空き: 99 GB

- タグ
- デバイスの詳細情報
- アプリケーション
- アプリ管理設定プロファイル
- プロビジョニングプロファイル
- 位置情報履歴
- 証明書
- 構成プロファイル
- 設定プロファイル

このデバイスの操作

コマンドを選択してください

実行

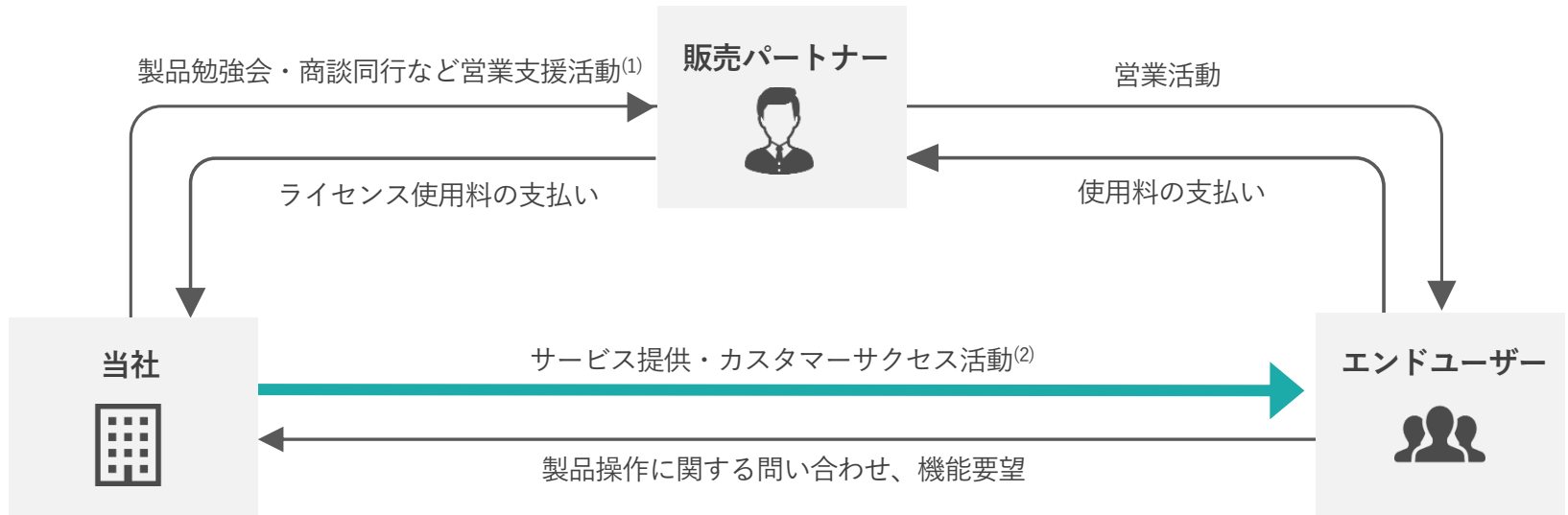
2 CLOMO デモ動画（紛失モードを設定する）

The screenshot displays the CLOMO web interface. The top navigation bar includes 'HOME', 'Users/Org', 'Devices', 'Applications', and 'Reports'. The 'Devices' tab is active. On the left, a 'フィルター' (Filter) sidebar shows 'デバイス種類' (Device Type) with options for '全て' (All), 'iPad', 'iPhone', 'Android', and 'Windows'. The main area shows a table of devices with columns for 'デバイス種類', 'デバイス名', 'モデル名', 'デバイス管理状態', '電話番号', and '所有者'. The first row is selected, showing an iPhone with model name 'iPhone' and owner '池田花子'. On the right, a detailed view for the selected iPhone is shown, including '所有者情報' (Owner Information), 'iPhone iOS 17.1 監視対象' (iPhone iOS 17.1 Monitoring Target), and a list of management options like 'デバイスの詳細情報' (Device Details) and 'アプリ管理設定プロファイル' (App Management Profiles).

デバイス種類	デバイス名	モデル名	デバイス管理状態	電話番号	所有者
<input checked="" type="checkbox"/>	iPhone	iPhone	管理中	(なし)	池田花子
<input type="checkbox"/>	Android	sunfish	管理中	(なし)	田中太郎
<input type="checkbox"/>	iPhone	iPhone 002	-	8012345678	高田まり
<input type="checkbox"/>	Android	F04K	管理中	(なし)	山田一郎
<input type="checkbox"/>	Windows	DESKTOP-I6L8569	管理中	(なし)	
<input type="checkbox"/>	Android	sunfish	管理中	(なし)	
<input type="checkbox"/>	iPhone	iPhone	管理中	(なし)	DEP: プロファイル割
<input type="checkbox"/>	iPad	iPad	管理中	(なし)	DEP: プロファイル割

CLOMO事業の概要（販売体制）

販売パートナーと連携したサービス展開を基本とする一方で、導入顧客に対しては豊富な製品知識を有するカスタマーサクセス部門が、ダイレクトにサポート



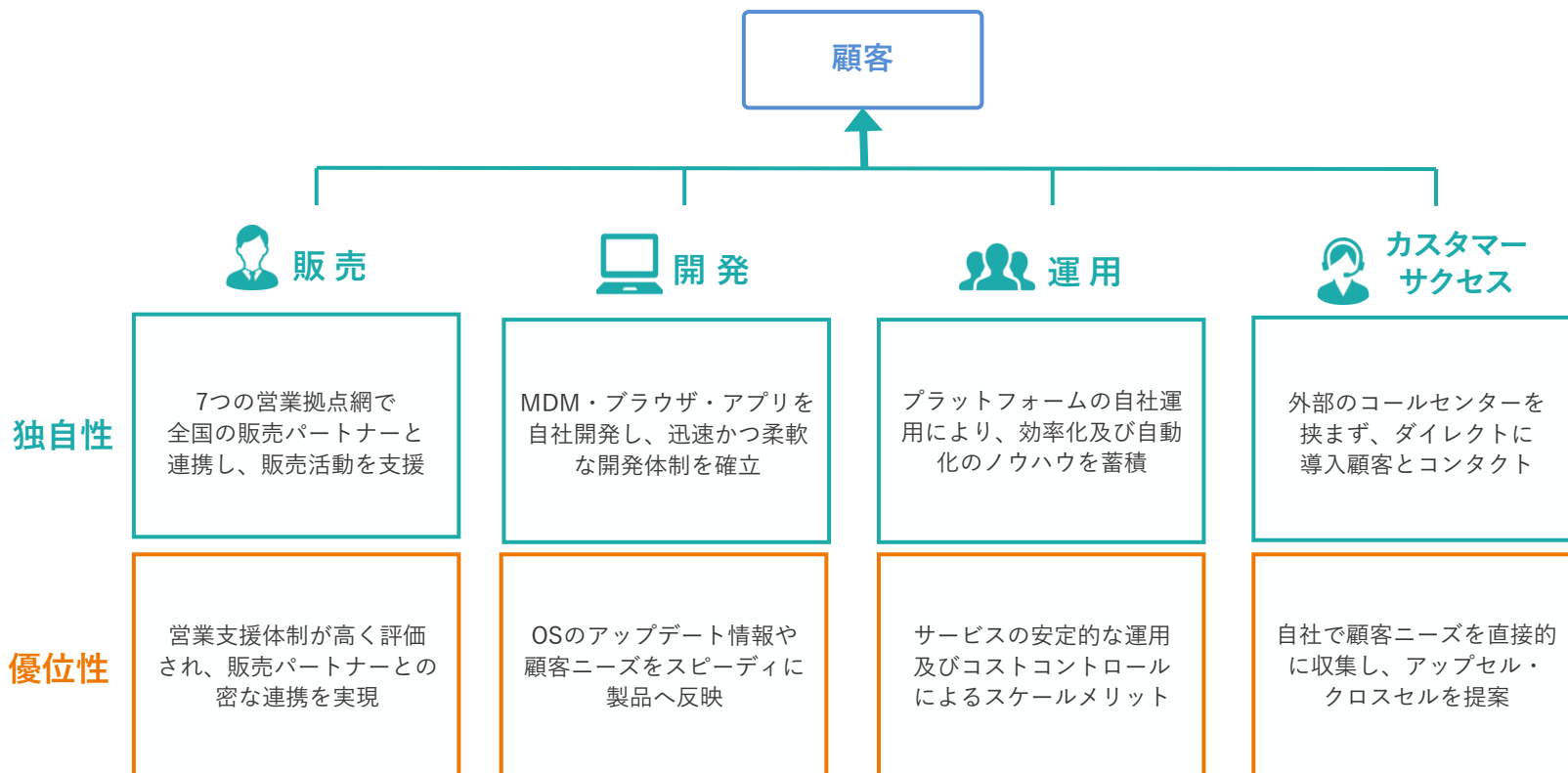
注：

1. 販売パートナーに対する営業支援活動のほか、潜在顧客に対しては導入事例記事広告やセミナー・イベント出展などを中心としたマーケティング活動を行っております。
2. カスタマーサクセス活動として、顧客からの問い合わせに対するサポート対応や定期的な顧客面談、製品操作に関するセミナーやユーザーミーティングの開催、アップセルやクロスセルの提案を行っております。

統合力

販売・開発・運用・サポートをすべて自社で行う統合力により、顧客満足度の高いサービスを実現

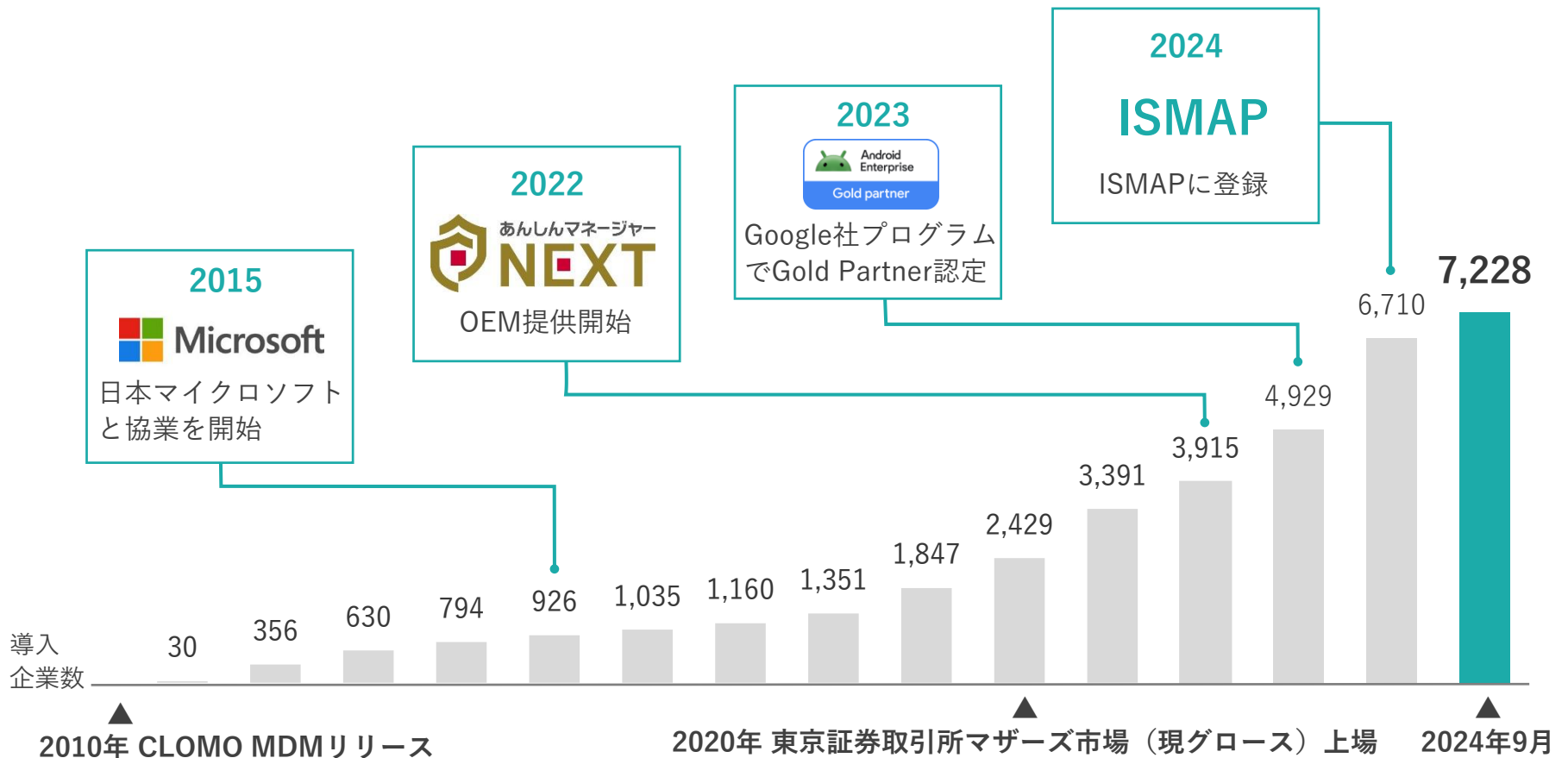
統合力 顧客によりそい、満足度の高いサービスの提供が可能



CLOMOリリース後の変遷

OS開発元とのパートナーシップや認定取得を通じてサービス開発を推進

2022年にはNTTドコモグループへOEM提供を開始し、14年間で顧客数は7,000社を突破



国内MDM市場14年連続シェアNo.1の達成

2010年にサービスイン後、CLOMO MDMは継続的に顧客規模を拡大
国内MDM市場(自社ブランド)において、14年連続のシェアNo.1⁽¹⁾を達成



注：

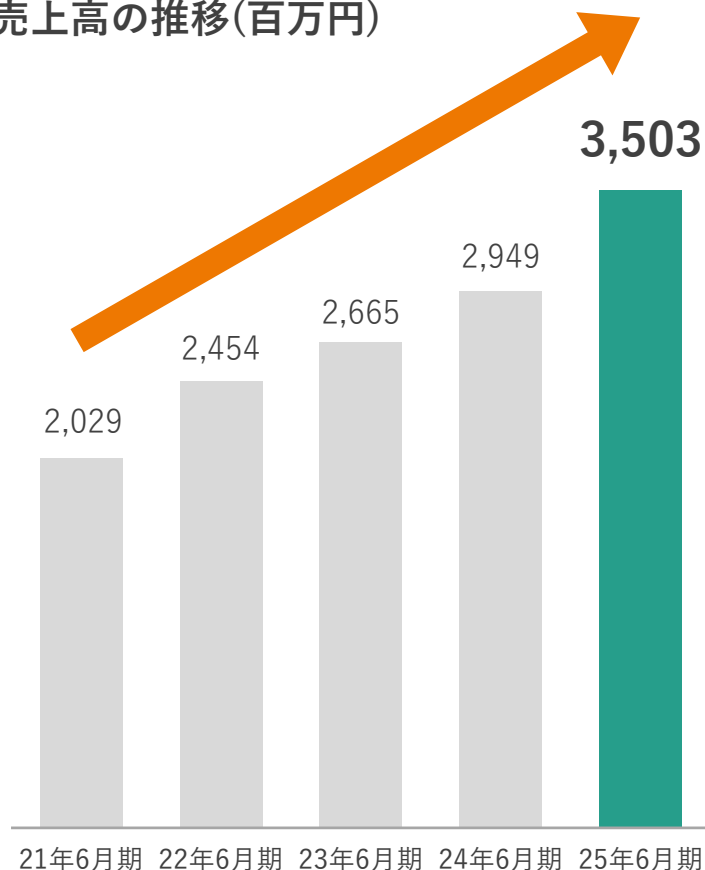
1.出典: デロイト トーマツ ミック経済研究所「コラボレーション/コンテンツ・モバイル管理パッケージソフトの市場展望(<https://mic-r.co.jp/mr/00755/>)」2011～2013年度出荷金額、「MDM自社ブランド市場(ミックITレポート12月号: <https://mic-r.co.jp/micit/2024/>)」2014～2023年度出荷金額・2024年度出荷金額予測

3. 業績の推移

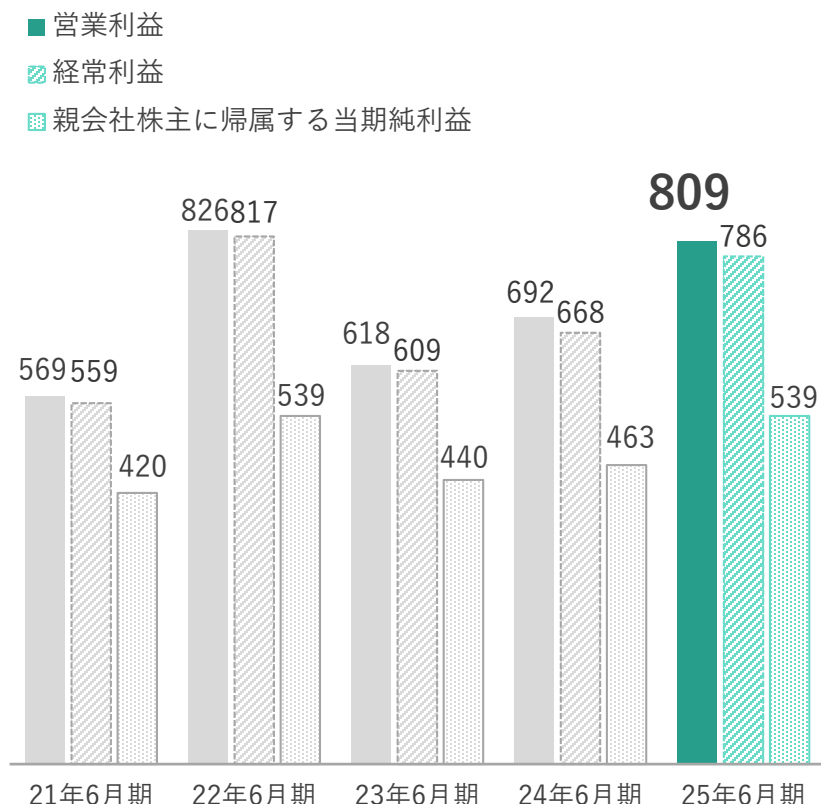
2025年6月期 連結業績見通し

売上高は3,503百万円（CAGR 14.6%）、営業利益は809百万円（CAGR 9.2%）

売上高の推移(百万円)



利益の推移(百万円)

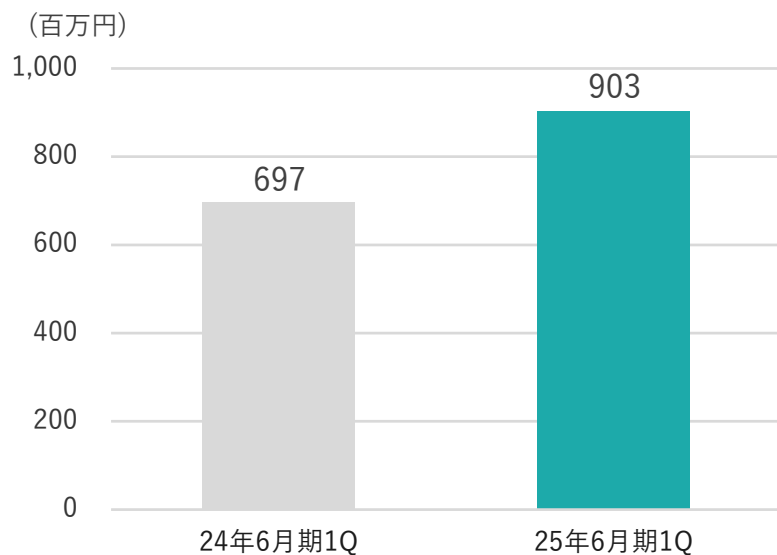


※2022年6月期より連結決算に移行したため、2021年6月期までは単体決算、2022年6月期以降は連結決算数値を記載しております。

2025年6月期 第1四半期 連結売上高・営業利益

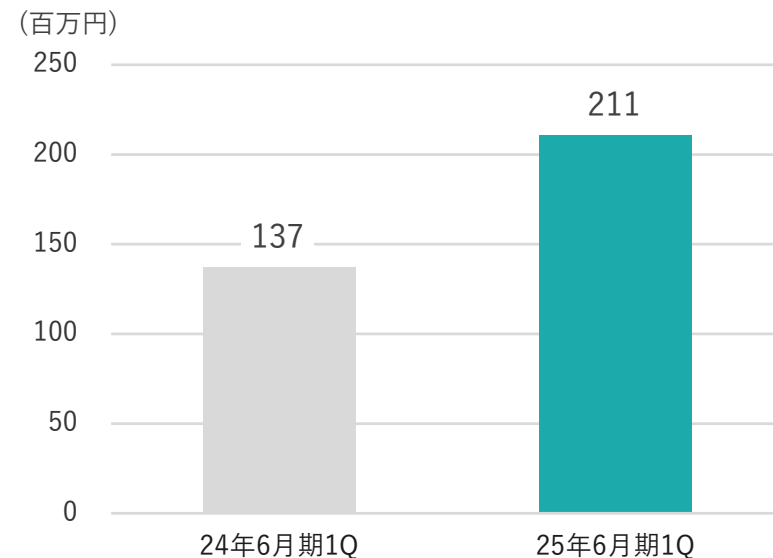
第1四半期(7月～9月)の実績については、売上高は903百万円(前年同期比 29.7%増)、
営業利益は211百万円(前年同期比 54.1%増)

売上高



24年6月期1Q	25年6月期1Q	前年同期比
697百万円	903百万円	+29.7% (+206百万円)

営業利益



24年6月期1Q	25年6月期1Q	前年同期比
137百万円	211百万円	+54.1% (+74百万円)

2025年6月期 第1四半期 連結貸借対照表

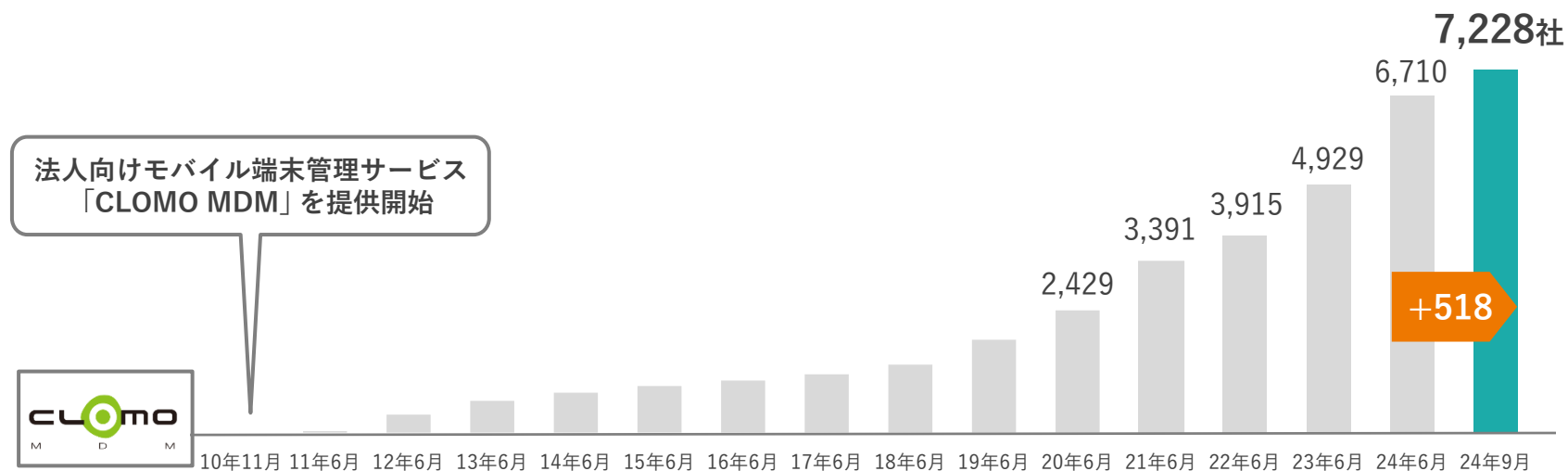
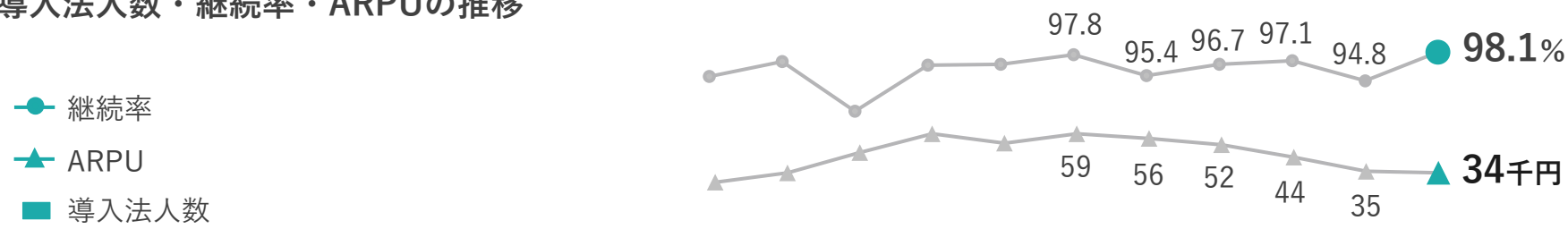
成長投資や株主還元を進めながらも安定した財務基盤を維持し、自己資本比率は75.9%
現預金の減少は、主に配当金及び法人税等の支払い

(単位：百万円)	24年6月期	25年6月期1Q	増減
流動資産	2,525	2,284	△241
現金及び預金	1,812	1,701	△111
売掛金	332	321	△11
営業投資有価証券	265	165	△100
固定資産	1,083	1,088	+5
ソフトウェア	246	184	△62
ソフトウェア仮勘定	103	156	+53
資産合計	3,609	3,372	△237
流動負債	1,029	801	△228
契約負債	483	448	△35
固定負債	—	—	—
負債合計	1,029	801	△228
純資産合計	2,579	2,570	△9

CLOMO事業KPI 導入法人数・継続率・ARPU

顧客基盤拡大の施策が進んだ結果、ARPU⁽¹⁾は低下傾向が続くものの、導入法人数は大きく増加
継続率⁽²⁾は98.1%と、高い水準を維持

導入法人数・継続率・ARPUの推移



注：

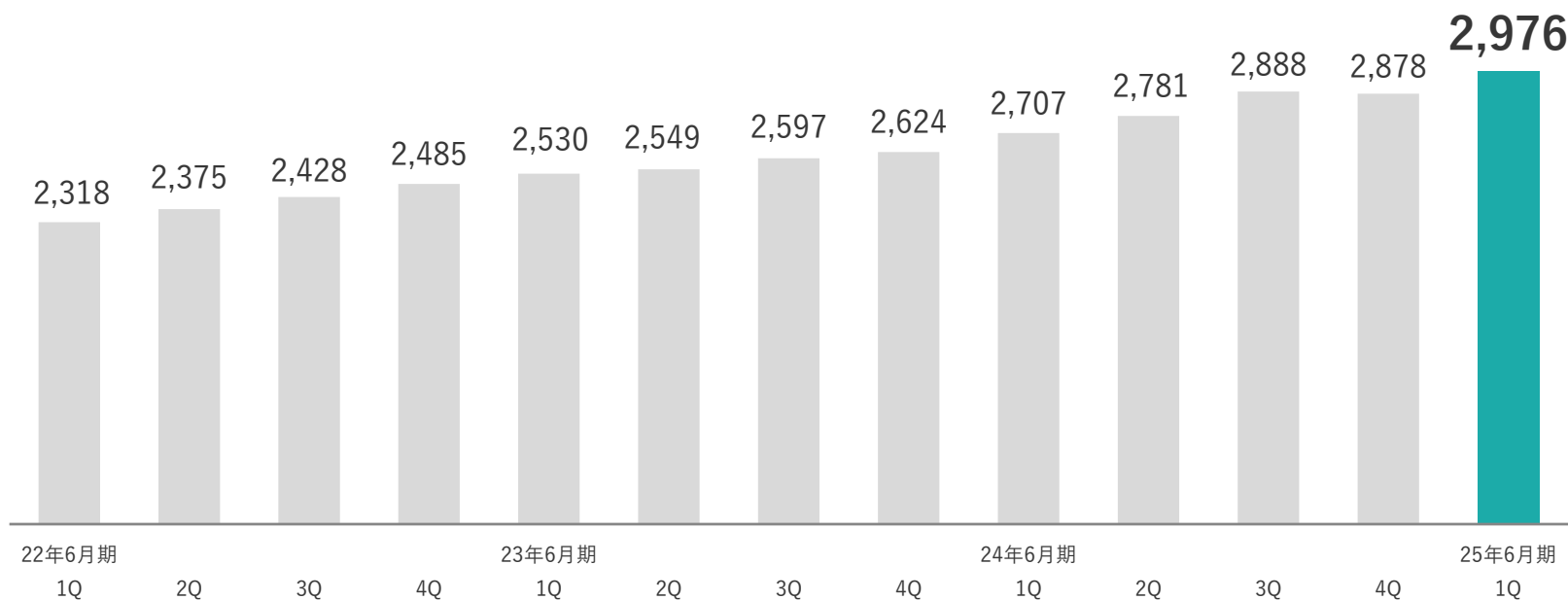
1. Average Revenue Per Userの略称。導入法人数当たりの平均月間単価。各月時点におけるARRの1/12を、当月末時点の導入法人数で除して算出。
2. 継続率は、前年同月末ライセンス数から直近12ヶ月の解約数を差し引き、前年同月末ライセンス数で除したもので算出。

CLOMO事業KPI ARR

サブスクリプションビジネスの主要KPIであるARR⁽¹⁾は、主にOEM提供を通じた新規顧客獲得により伸長し、前年同期比 +10.0%の成長

各四半期末時点のARR推移

(百万円)



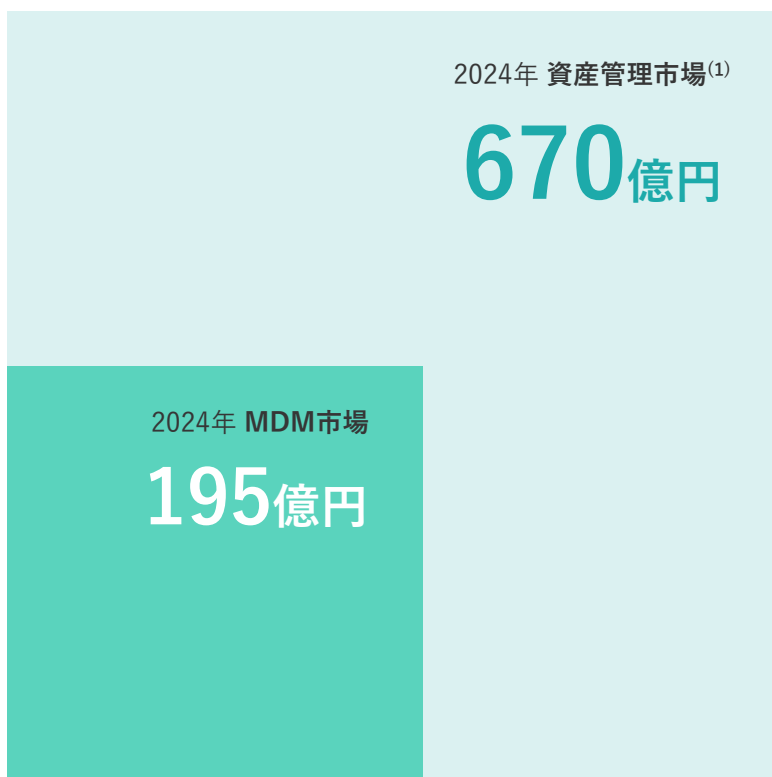
注：
1. Annual Recurring Revenue の略称。各月のMRR (対象月の月末時点の導入法人に係る月額料金の合計額であり、一時費用を除く)を12倍して算出。

4. 市場環境

CLOMO事業がターゲットとする市場

主軸となるMDM市場の市場規模は195億円

ターゲットとする市場規模は全体で670億円と、CLOMO事業は大きなポテンシャルを持つ



市場の成長要因

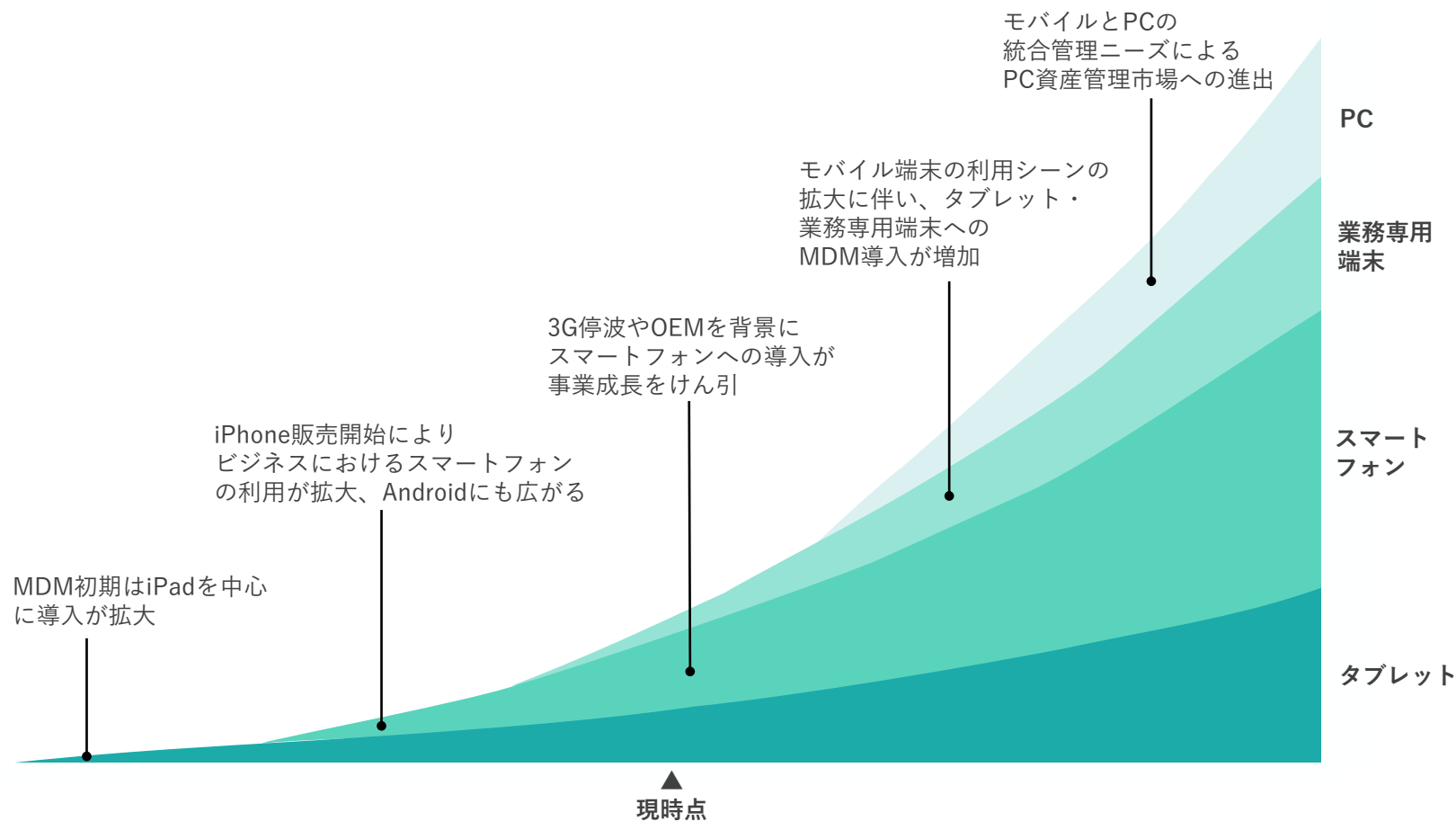
- 3G停波に向けて、法人のスマートフォンへの切り替えが加速することで、スマートフォンへのMDM導入の機会が増加
- DX化によって医療や製造・運送業の現場におけるモバイル端末の導入が進み、業務用タブレットや業務専用端末など、MDMの管理対象端末が拡大
- PC資産管理／セキュリティソフトウェアはSaaS化が加速し、さらにPCとモバイル端末の統一管理のニーズ増加に伴い、MDMベンダーのPC資産管理市場への参入機会が見込まれる

注：

1. MDM市場の2024年市場規模予想額及びPC資産管理市場の2024年市場規模予想額を合算した金額です。各市場の市場規模についての詳細は、次頁以降をご参照ください。

CLOMO事業の売上成長イメージ

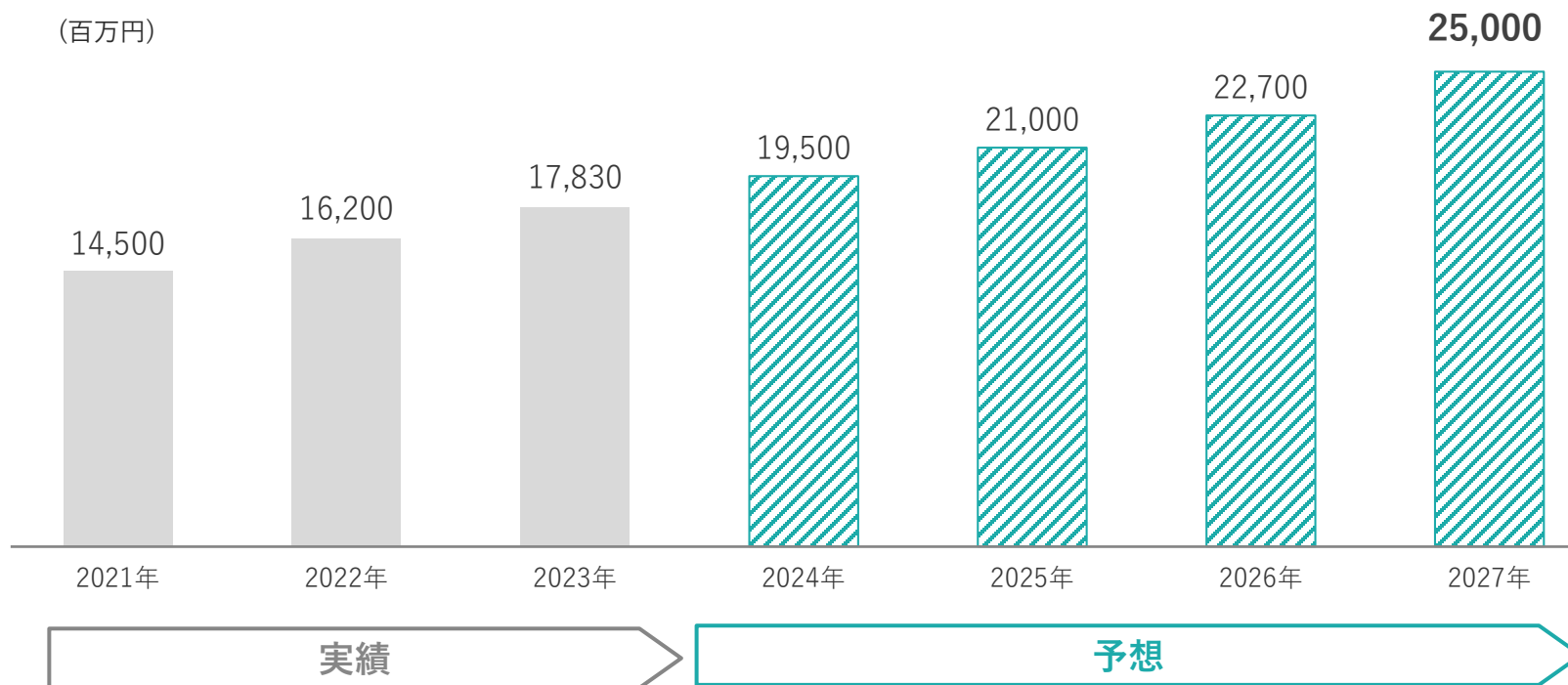
スマートフォンのビジネス利用拡大に伴い、当社事業はこれまで堅調に拡大
新たな管理対象端末へ市場が広がることでさらなる事業成長を見込む



MDM市場の市場規模予測（出荷額）

スマートフォン/タブレットを中心としたMDM市場は、堅調な成長が見込まれる

2027年までに **250億円規模** まで拡大する見通し

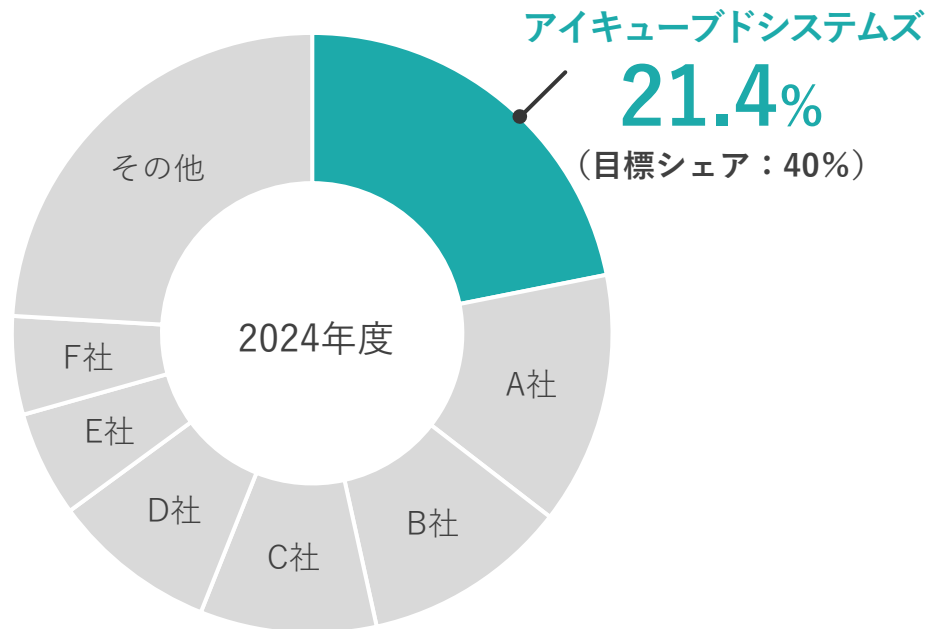


出所：デロイト トーマツ ミック経済研究所「ハイブリッドワークの最適解をもたらす コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2023年度版 (<https://micr.co.jp/mr/02880/>)」。

国内MDM市場（自社ブランド）におけるシェア

国内MDM市場（自社ブランド）において、14年連続のシェアNo.1を達成
将来的な目標シェア40%の達成を目指す

MDMの自社ブランド出荷額シェア

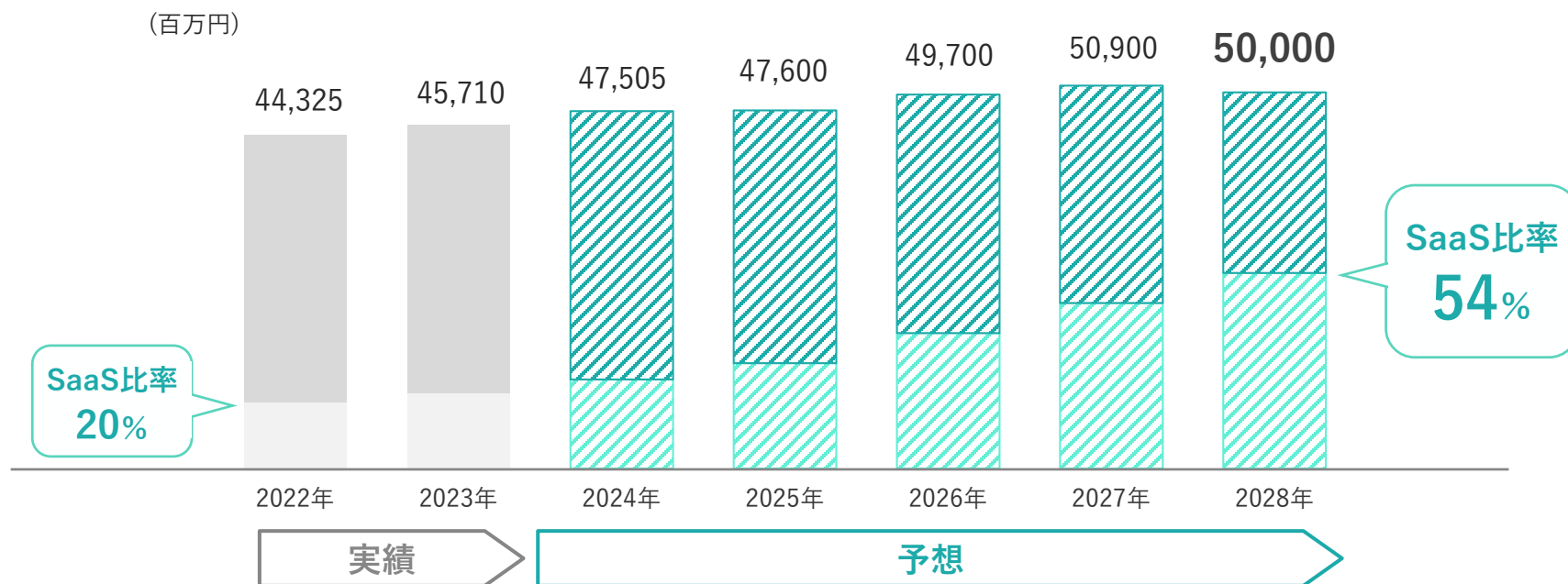


出所：デロイト トーマツ ミック経済研究所「MDM自社ブランド市場(ミックITリポート12月号: <https://mic-r.co.jp/micit/2024/>)」2024年版
※自社ブランド製品のみを対象とした出荷額シェアであり、OEMによる出荷額は集計に含まれておりません。

PC資産管理市場の市場規模予測（出荷額）

MDM市場の2倍以上の規模を持つPC資産管理市場において、SaaS型への移行が進む
モバイル端末・PCの統合管理需要の増加を背景に、MDMベンダーの参入機会が到来

2028年までにSaaS比率は **54%** まで拡大する見通し

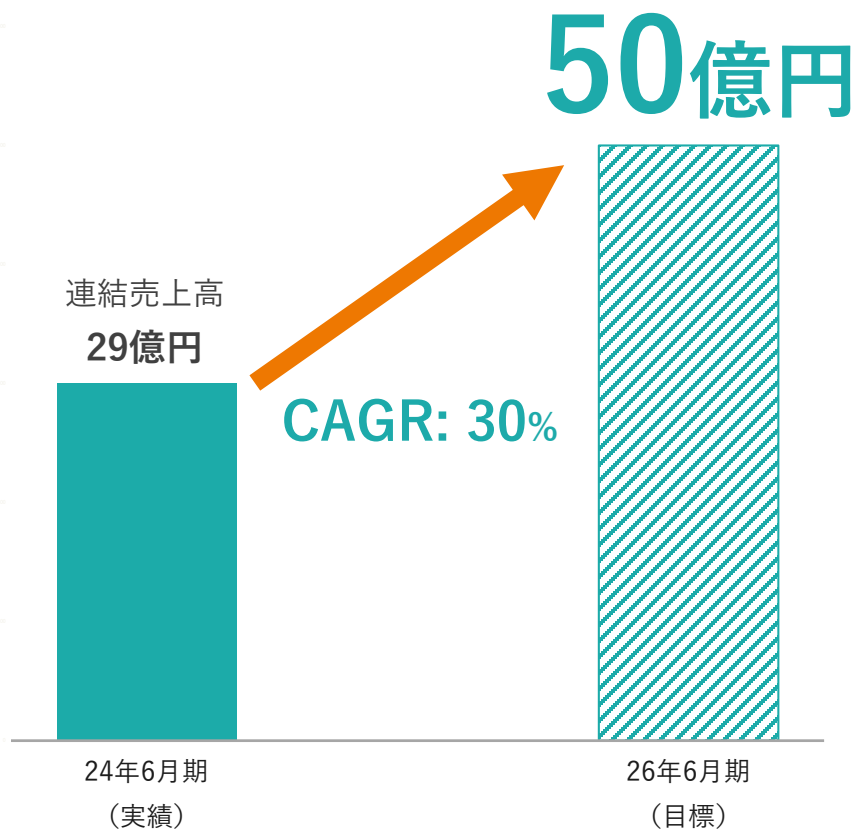


出所：株式会社テクノシステムリサーチ「2024年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」

5. 事業計画及び成長戦略

成長戦略及び中期売上目標（FY24-26）

社内リソース及びM&Aを活用し、CLOMO事業のトップライン拡大と新規事業の創出に最大注力
当社グループの持続的成長に向けた基盤構築に取り組む



● CLOMO事業の拡大

NTTドコモグループへのOEM提供を通じて顧客基盤の拡大を推進すると共に、オプションサービスの拡充によるARPUの向上を図ることで、さらなる売上増加に取り組む。

● 新規事業の創出

ITを含む広い事業領域をターゲットに、新たな領域への進出を目指す。M&Aなど外部リソースの活用に加えて、社内で生まれたアイデアの事業化を目指し、2024年7月より専門部署を設置。

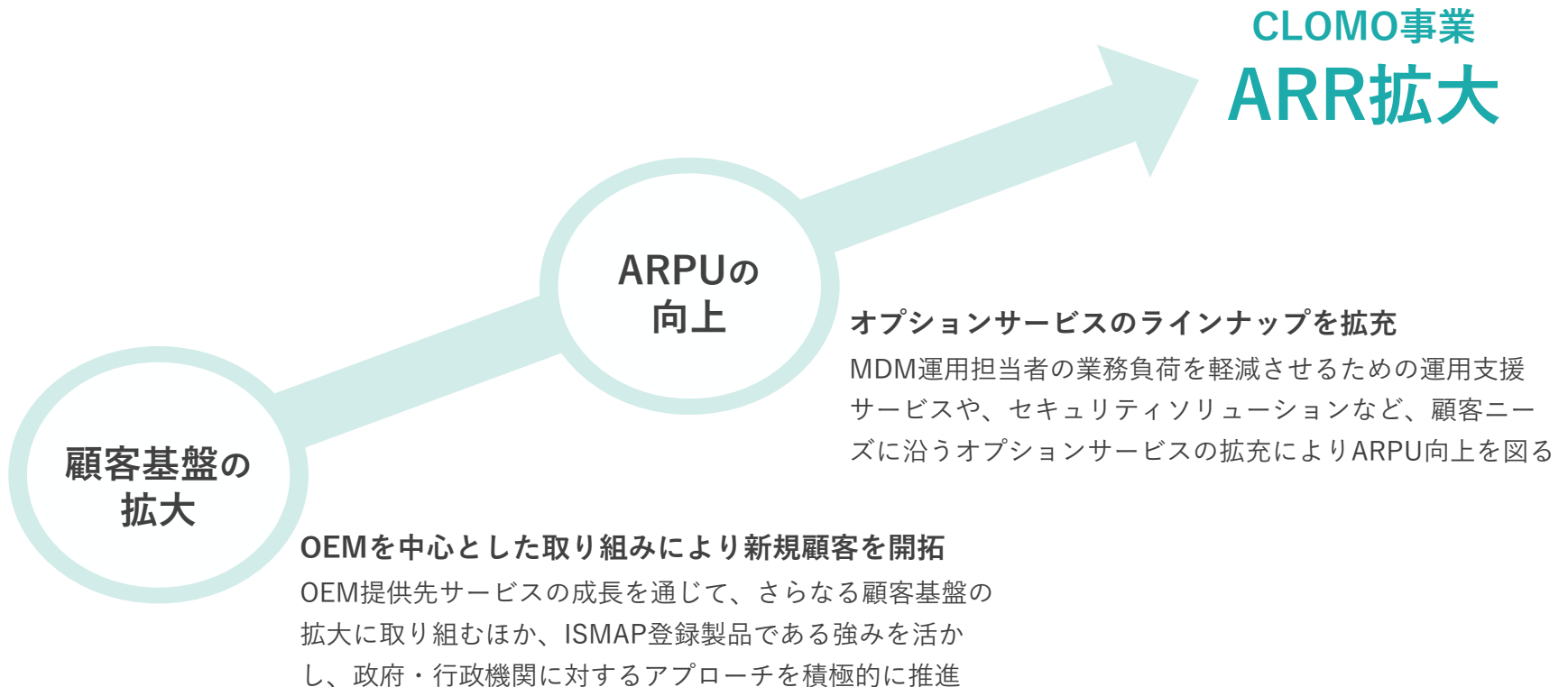
● 投資事業の推進

当社グループのCVCファンド（10億円規模）を通じて引き続きスタートアップ投資を進める。

ARR最大化に向けた施策の推進

順調な顧客基盤の拡大を背景に、2025年6月期も継続的にARR拡大に向けた施策を推進する方針
顧客基盤を活用したクロスセル提案によってARPU向上に取り組み、CLOMO事業全体の成長を図る

CLOMO事業のARR拡大施策

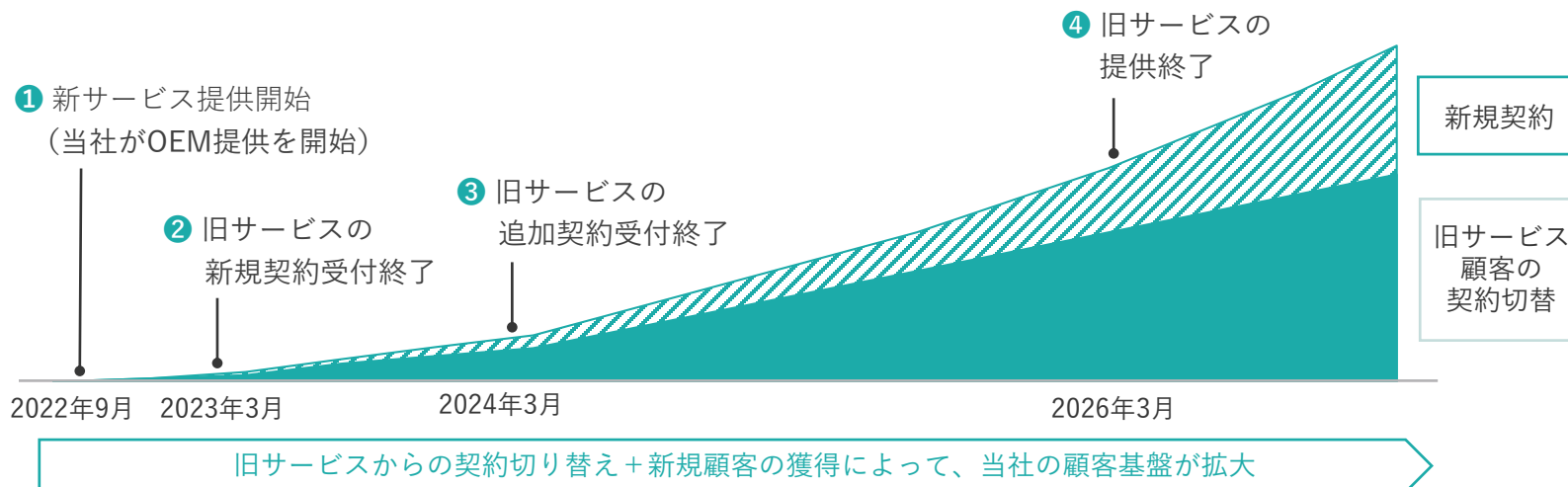


OEMによる中長期的な顧客拡大

OEMによる顧客拡大は2026年3月まで加速的に拡大する見通しであり、様々な施策で契約切替を促進さらに、営業拠点を通じてNTTドコモグループとの連携を強め、新規顧客の開拓を進める

OEMによる顧客の増加イメージ

- 1 NTTドコモグループが提供するMDMサービス（以下、旧サービス）のリニューアルに伴い、新サービス「あんしんマネージャーNEXT」（以下、新サービス）へ、当社がOEM提供を開始
- 2 2023年3月に旧サービスの新規契約受付が終了したことで、本格的な新サービスへの移行による顧客獲得を開始
- 3 2024年3月に旧サービスの追加契約受付が終了したことで、新サービスへの移行がさらに加速
- 4 旧サービスの顧客は2026年3月のサービス提供終了までに、新サービスへ契約切替を進める



顧客ニーズに沿ったクロスセル

オプションサービスの拡充施策の推進により、顧客ニーズに沿ったサービスラインナップを実現
今後は連携機能の追加開発を進めつつ新規・既存顧客へのクロスセルに注力し、ARPU向上に取り組む

セキュリティ対策

NEW

secured by
Deep Instinct



AIを活用し既知だけでなく未知の脅威まで予防する

secured by
Cybertrust



デバイス向けの電子証明書で強固な端末認証を手軽に実現

secured by
One Be



Windows端末の使用エリアを制限、不正な持ち出しを検知

NEW

Harmony
Mobile



様々なサイバー攻撃から包括的にモバイル端末を保護

機能追加

MOBILE APP
PORTAL



デバイスへのアプリ配信、社内アプリポータル構築

Launcher



用途ごとに必要なアプリのみを表示したホーム画面の作成

NEW
Team Viewer
Remote



遠隔地にあるデバイスへのリモートアクセスツール

運用支援

NEW

オンボーディング
サービス



初期設定から運用開始までを一貫して支援

NEW

キittingグ
サービス



MDMのプロがキittingグ作業を代行

サポートチケット



管理者の負担を軽減しスムーズな導入・運用をサポート

運用代行



MDMのプロが運用を代行

リモートオペレーション
サービス



24時間365日紛失時の対応

※ NEWマークのついたサービスについては、2023年6月期以降にサービスを開始しております。

Windows PC向けサービスの強化

Windows PC向けサービスの増強を図るべく、Windows PCに特化したセキュリティ製品を提供するワンビ株式会社を子会社化⁽¹⁾。オプションサービスの拡充や販路共有による顧客基盤拡大を図る

ワンビ株式会社の概要



- 「私たちが、情報漏洩を防ぐ」という経営理念のもと、法人や個人が利用するWindows PC向けの情報漏洩対策ソリューションを開発・提供。
- 紛失されたWindows PCに対して、電源起動状態やネットワーク接続の有無に関わらず、遠隔で強制的にデータを削除することが可能となる独自技術によって、企業の情報漏洩対策を支援

Windows PCの管理に強み

Windows PC向けの情報漏洩対策ソフトウェアの開発・提供を主軸に、多様なサービスラインナップ事業を拡大しており、60万台以上のWindows PCへの導入実績を持つ

PCメーカーへの豊富なOEM実績

ワンビ株式会社はPCメーカーへの豊富なOEM実績を持ち、流通商社を中心とした強固な販売網により、これまで2,500社以上の企業へサービスを導入

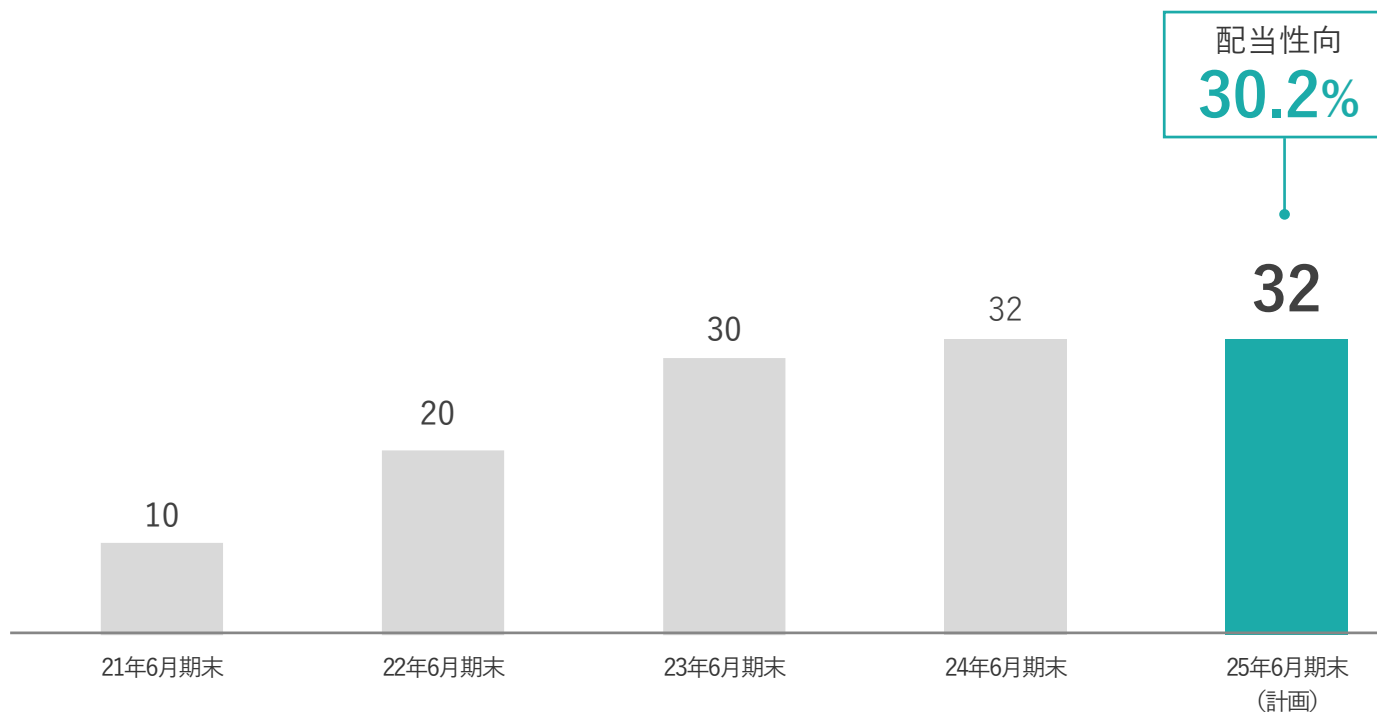
注：

1. 当社は、ワンビ株式会社の株式に対する公開買付けを開始しております。概要については、2024年11月29日開示の「ワンビ株式会社(証券コード：5622)の株式に対する公開買付け(子会社化)の開始に関するお知らせ」をご参照ください。

株主還元の方針

当社の中長期的な成長に期待していただける株主の皆さまに対して、積極的な株主還元を実施する方針であり、25年6月期末の配当は前年同額の32円を計画

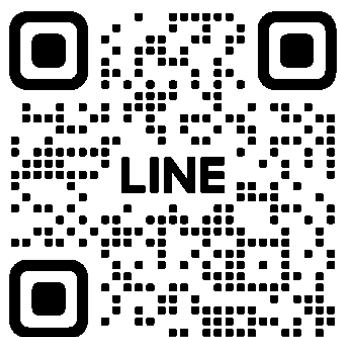
配当金の推移（円）



IRニュースレターのご案内

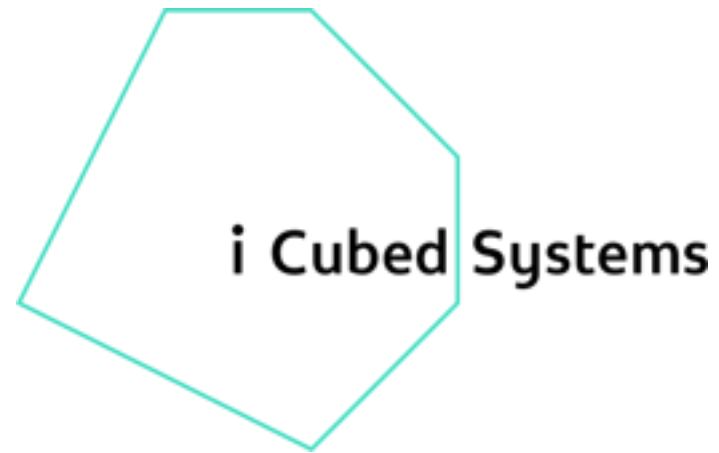
最新のニュースリリースやIRイベントのご案内など、当社IRに関する情報について、お知らせするサービスを行っております。以下のQRコードを読み取り、ぜひご登録ください。

LINEで受け取りたい方はこちら



メールで受け取りたい方はこちら





本資料の取り扱いについて

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行なっております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。